

工事費内訳書の不備等により無効の入札となる取扱いについて

「延岡市電子入札注意事項」等で示している、工事費内訳書の不備等により無効の入札となる取扱いについて、次の例示に相当する入札については、「無効」としますので、入札の際には必ず入札書と工事費内訳書（以下「内訳書」という。）に不備等がないか確認して入札してください。

類 型	内 容	備 考
1 未提出であると認められる場合	ア 内訳書が提出されない場合	内訳書が複数頁必要な場合において、一部が欠落している場合
	イ 内訳書と無関係な書類の場合	提出された書類が内訳書以外の書類等の場合
	ウ 他の工事の内訳書である場合	提出された内訳書が別工事の場合
	エ 白紙である場合	提出された内訳書が白紙の場合
	オ 内訳書が特定できない場合	複数の内訳書の提出があり、特定できない場合
2 工事費内訳書に不備がある場合	ア 内訳書の重要な項目がない場合	内訳書の「商号又は名称」、「工事名」、「内訳項目」、「金額」等の記載がないことにより、入札書と同一性が判別できない場合
	イ 「工事名」の記載に誤りがある場合	内訳書の「工事名」が入札案件と異なる場合。
	ウ 「商号又は名称」の記載に誤りがある場合	内訳書の「商号又は名称」が異なる場合。ただし、軽微な誤字、脱字であると認められる場合は除く。
	エ 内訳書に工事価格の記載がない場合	内訳書の中に工事価格(※)の記載がない場合 (※)工事価格：積算時における、消費税抜きの金額。通常入札額と同類。
	オ 内訳書の工事価格と入札額が不一致の場合	内訳書の工事価格の金額と入札額が一致していない場合
3 その他	ア 内訳書の電子データが破損している場合	内訳書のファイルが壊れている等の理由により、確認が困難な場合